

施策の進捗状況

KPI (重要業績評価指数)	測定方法	実績値	進捗率	実績値の検証
		目標値	方向性	
59. 将来の夢や目標を持っている児童生徒の割合	文部科学省「全国学力・学習状況調査」	54%	△1.85%	小学校の市の割合は64.7%であり、目標に迫る数値である。中学校の市の割合は、43.2%であり、県と全国を上回っているが、目標には大きく届いていない。
		65%	↑	
60. 学習定着度調査における平均通過率の県との比較	鹿児島県「鹿児島学習定着度調査」(N-1)	-2.1ポイント	53.25%	中学校1年が-0.5、中学校2年が-0.1と県平均に迫っている。小学校5年が-5.8と県平均を下回っており、課題に応じた演習問題等の徹底を行う必要がある。
		1.5ポイント	↑	
62. 体力テスト(小中学校)における平均値の県との比較	鹿児島県「児童生徒の体力・運動能力、運動習慣調査」(N-1)	-0.4ポイント	34.38%	小学5年男女は県平均を上回っているが、中学校2年女子が県平均を下回っている。
		1.7ポイント	↑	
61. 規範意識の高い児童生徒の割合	市内小中学校の学校評価(N-1)	87.2%	△154.55%	小学校89.6%、中学校82.3%であり、中学生の規範意識を向上させていく必要がある。
		90%	↑	

施策としての改善方針
<p>1. 霧島しごと維新事業については、内容の見直しを図りながら、更に生徒や保護者のニーズに応じた事業を目指す。特に企業訪問については、ハローワーク・商工会議所・商工会等と連携して協賛企業を増やし、内容の充実を図っていく。</p> <p>2. いじめ・不登校を減らしていくために、「心の健康観察」アプリケーションの積極的な活用を図るとともに、心の相談員の活用や、いじめアンケート等を実施する。また、国分・単人支援センターにおいても1人1台端末の活用を推進していく。</p> <p>3. 山村留学支援事業については、里親等の受入制度を工夫することで、地域人材の育成につなげ、事業の推進を図っていく。また、特色ある学校教育を推進することにより、学校や地域を愛する心を育んでいく。</p> <p>4. 国分中央高等学校については、生徒の専門的技術と高度な知識の習得を図っていく。また、進学・就職に関しては選択肢の充実を図るとともに、定員確保についてもこれまで同様に取り組むことで、生徒・保護者・地域の満足度の高い学校づくりを目指していく。</p>

施策幹事課	関係課
教育部教育総務課	教育部学校教育課 / 教育部学校給食課 / 教育部メディアセンター / 教育部国分中央高等学校